



許容範囲を広くすると

校長 石橋 功



早いもので、あと数週間で1学期が終わります。時間の進み方は誰にも同じはずなのですが、10代の頃は、1時間が60分だったのが、20代、30代と年を取ると、1時間は40分くらいになってしまったかのように時の流れが早まります。生徒の皆さんも、小学生の頃より、時が経つのを早く感じるようになっていませんか。

年度初めの始業式、入学式で、「学校は生徒や先生が、生き生きワクワク活動できる場所」であってほしいと話をしました。現在、学校生活を送っていてどうでしょう？確かに生き生きワクワクする場面ばかりではないでしょう。そこで、今回は、学校を含めた生活を少しでも生き生きワクワクできるヒントを書こうと思います。

人間は、生活をしていて、嫌な気持ちになることがあります。嫌な気持ちになる時って、どんな時でしょう？「嫌な気持ちになる場面」は色々あります。自分の好きではない味や食感の食べ物を口にした時。自分が心地よいと思わない低い気温や高い気温の時。他の人が、あまり自分が好きではない行為や発言をする時。そして、「嫌な気持ちになる頻度」は、人によって随分違います。味にしても、気温にしても、他の人の行為や発言にしても、その人の「許容範囲」によって大きく変わります。

「許容範囲」という言葉ですが、「そこまではよいと許し、認めること」を意味します。許さない、認めない範囲が狭く小さければ、嫌な気持ちになる場面や状況は少なくなります。逆に許さない、認めない範囲が広ければ広いほど、嫌な気持ちになる場面は多くなります。

嫌な味が多い人は、楽しめる食事も少なくなります。辛いものがダメな人は、韓国料理やメキシコ料理を楽しむことができません。味に関しては、舌の感じ方でもあるので、直ぐ受け入れて楽しめるようになる訳にはいきませんが、他のことはどうでしょう？

春の選手権大会松戸市予選会を勝ち抜いて県大会に出場を決めたいくつかの部の人たちは、寒い冬の、暑い夏の練習の中、その気温の低さや高さに不平不満を口にして練習したのでしょうか？それらを受け入れて、違う価値観の下で、練習に励み、栄冠を勝ち得たのではないのでしょうか。

他の人の行為や発言、これについては、心が許すかどうか、認めるかどうか、それが鍵になるように思います。「私は、〇〇って話す人が嫌いだ」「私は、△△って考えが嫌い」「私は、◇◇をする人が許せない」等、多ければ多いほど、関わることができる人が少なくなり、居られる空間が狭まり、いつもイライラしながら生活することになります。

機械でしたら改良して対応できますが、人の気持ちは、一人一人の心の形や奥深さが決めるように思います。許すこと、認めることが多くなること、つまり許容範囲が広がれば広がるほど、生活が穏やかで、充実したものになっていくように思います。

余談ですが、私は小さい頃、乳製品が苦手でした。中学生の頃だったと思いますが、ある日、「チーズやヨーグルトが食べられないってことは・・・の時、困る」と考え、その克服に努めた私が、後にお付き合いするようになった彼女とのイタリアンレストランでのデートで、パルメザンチーズをこぼれんばかりにかけたパスタとたっぷりチーズののったピッツアを楽しめるようになったことは、言うまでもありません。



部活動壮行会が行われました

練習した成果を発揮できれば、先輩方なら自ずと良い結果が出る！そう後輩の石原さんから力強い言葉をもらった3年生達、そして3年間努力し続けてきた自分を誇り、最後まで仲間を信じて全力を出し切ることを誓った部長会長の齋藤さん。河中生の健闘を祈っています！



【今後の予定】 ※S Cの来校日は原則木曜日となっております。

7月の予定

- 3月 3年生第1回実力テスト
挨拶運動員懇談会
- 4火 尿検査救済日
- 6木 委員会活動
- 10月 職員会議（放課後部活なし）
- 13木 情報モラル教室
※松戸警察署職員来校予定
体育館にて情報モラルに関する注意喚起及びトラブル防止の啓発。お時間のある保護者様はご来校をお待ちしています。
- 19水 大掃除
- 20木 終業式
- 21金 夏季休業開始
教育相談期間開始
※面談に向け時間を調整していただき、ありがとうございます。



9月の予定

- 1金 始業式
教育実習生実習開始
- 4月 第2回実力テスト（3年）
教育相談開始（～8金）
- 11月 職員会議
河中体育大会期間開始
- 15金 河中体育大会
- 21木 委員会活動
- 22金 市内駅伝
- 25月 学校内授業研修
- 28木 生徒会役員選挙

